

Y-SDGs
- standard -



Civil
Engineering
Consultant

CTEC

株式会社シーテック

〒253-0041

神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1-9-88

(株)J-POWER設計コンサルタント内

TEL 0467-85-4111

<http://www.kk-ctec.co.jp>



CTEC

株式会社シーテック

会社案内

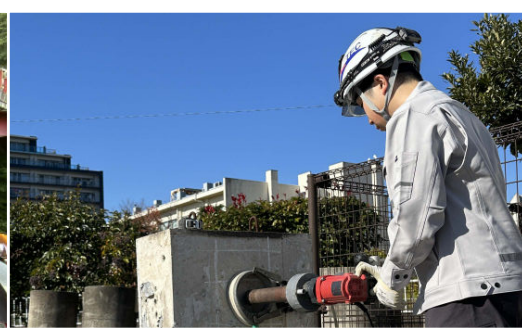
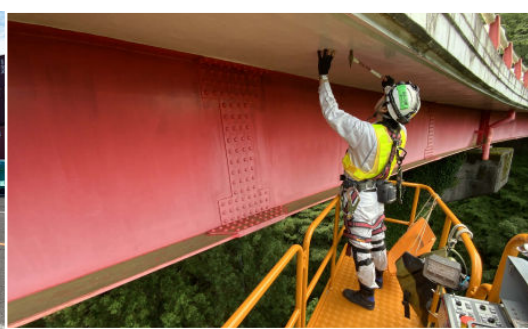
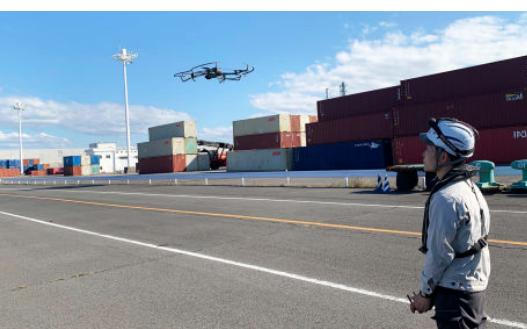


湘南茅ヶ崎から全国へ。コンクリート・鋼構造物を診る技術者集団。

株式会社シーテックは、建設材料の試験・解析と、コンクリート構造物の調査・診断を専門とする建設コンサルタントです。2002年4月、神奈川県茅ヶ崎市に設立しました。技術士やコンクリート診断士をはじめとする有資格者が案件ごとに直接あたり、試験・解析から全国各地での現地調査までを担っています。

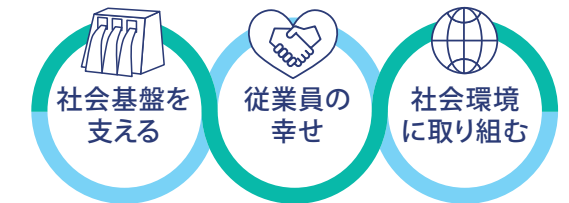
顧客満足度の向上、安全と品質の確保、環境の保全をお約束し、社会基盤の維持管理を担うコンクリートドクターを目指します。

株式会社シーテック 代表取締役
鈴木 世二



企業理念

従業員の幸せな生活を通じて社会に貢献する
コンクリート・鋼構造物等の社会基盤を技術で支える
社会環境・課題に取り組んでいく



社名の由来



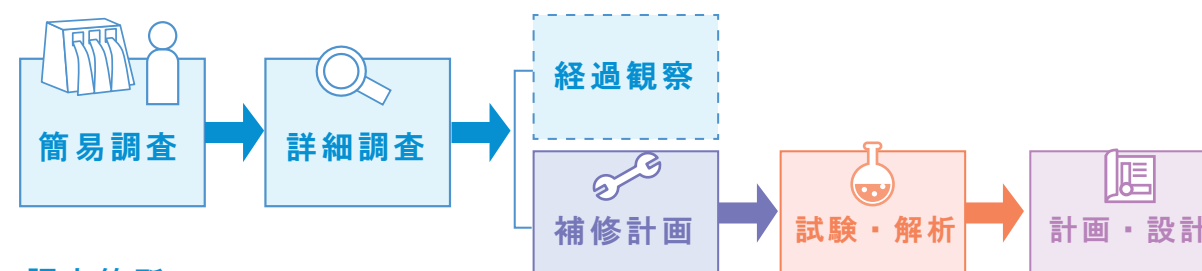
シーテック (CTEC) は「Concrete」(コンクリート)、「Civil Engineering」(土木工学)、「Chigasaki」(茅ヶ崎)「Challenge」(挑戦)の4つCと「Technology」(科学技術)のTECを組み合わせた社名です。建設コンサルタントとして技術を磨き、挑戦していくという意味が込められています。

事業内容



健全度調査

P5-P6



調査箇所

- ダム・頭首工・水路トンネル・開渠
- 発電所・変電所の土木構造物
- 道路橋・道路トンネル・周辺構造物
- 港湾・空港構造物(栈橋・護岸)
- 地下構造物(共同溝・配管トンネル・地下鉄)
- 上下水道施設
- 建築構造物(庁舎・マンション・住宅)
- 鋼構造物(水圧鉄管・タンク・支柱)

仕事の流れ



ご依頼の内容を社内で精査して調査計画を立て、現地調査・試験から解析、報告書の作成まで、外注せず自社で一貫して行います。



技術研究開発

P4

- 再生骨材の有効利用・製造に関する技術開発
- ドローンによる調査技術開発
- フライアッシュ・焼却灰の有効利用
- 非破壊調査技術の開発



補修技術

P4

- 補修・補強材料の開発研究(新材料の開発、研究)
- 補修材料の施工管理(補修工事に伴う技術的支援)



骨材製造

P8

- 骨材破碎試験(碎石プラントの仮設計、損失率)
- 骨材製造・骨材ふるい分け



試験・解析

P7-P8

- コンクリート試験(配合試験、耐久性試験、物性試験等)
- 材料試験(建設材料に関する物性試験)



持続可能な地球環境を実現するためにインフラ設備の長寿命化と維持管理を行っております。

調査・試験項目索引

- P5 外観調査(目視・打音)／強度測定(衝撃弾性波・超音波・反発硬度・付着強度)／ひび割れ測定／赤外線サーモグラフィ
- P6 鉄筋かぶり厚(電磁誘導・電磁波レーダー)／鉄筋腐食度(自然電位・分極抵抗)／試料採取(コア・はつり・ドリル)／空洞調査／鋼構造物(板厚・磁粉探傷)
- P7 硬化コンクリート試験(強度・中性化・塩水浸漬・凍結融解・耐候性)／フレッシュ試験(練り混ぜ・透水・乾燥収縮・断熱温度上昇)／アルカリシリカ反応
- P8 コンクリート分析(塩化物イオン・粒度)／材料試験(ふるい分け・すりへり・骨材物質)／粉碎試験・骨材製造

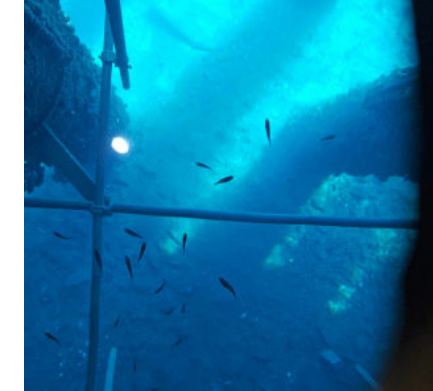
シーテックが目指すインフラメンテナンスのかたち

安全で安心な国民生活と安定した社会経済を保障するためには、インフラの機能を常に維持しておくことが不可欠です。問題なく見えるコンクリート構造物でも、経年とともに、ひび割れや鉄筋の露出といった劣化が進んでいきます。数年ごとに点検・診断・記録をくり返すことで、構造物の長寿命化を図り、社会基盤の維持管理に貢献しています。



環境負荷軽減、安全性・品質向上に向けた技術開発

ドローンによる内部点検、360°カメラによる細部調査、LiDAR技術による3Dスキャンなど新たな技術開発に取り組んでいます。また、CO2排出量を抑えた低炭素コンクリートや、長寿命化に効く補修材料など、環境負荷の軽減と安全性・品質の向上に取り組んでいます。



水中ドローンによる港湾調査

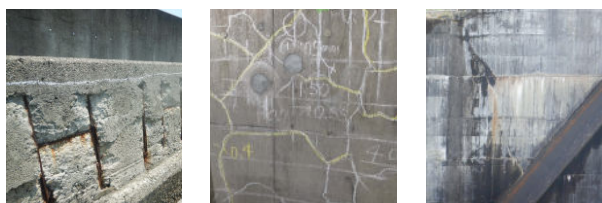


メンテナンスサイクル

劣化の原因はさまざまでも、進行は止められません。だから、点検・診断・措置・記録をくり返し、状態を追いつづけます。

コンクリートの老朽化の原因

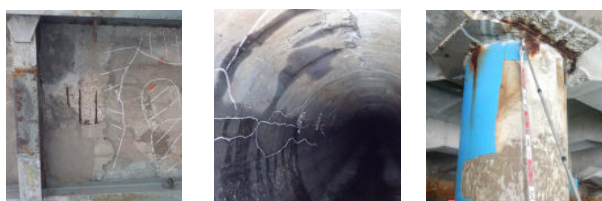
塩害	化学的侵食	中性化
凍害	疲労	アルカリ骨材反応



護岸

発電所

ダム

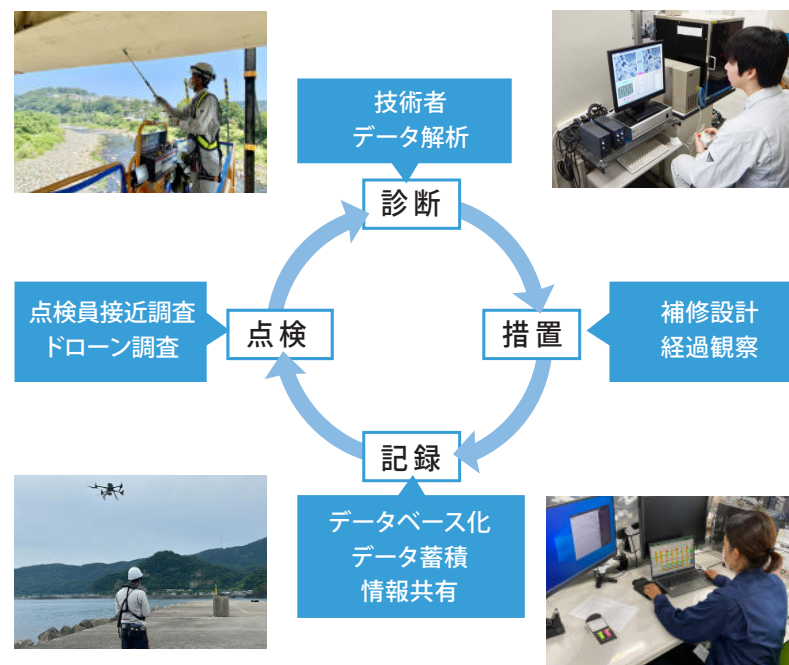


道路橋

水路トンネル

栈橋

メンテナンスサイクル



調査箇所

橋梁、ダム、発電所、港湾施設、トンネル。シーテックが調査するのは、いずれも暮らしに欠かせないインフラです。調査地は北海道から沖縄まで日本全国。これらを点検し、維持管理計画を立案するのが私たちの仕事です。

発電所



水力発電所

火力発電所

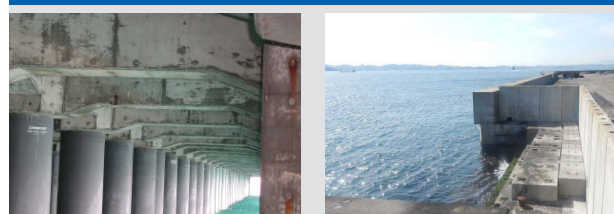
高速道路



トンネル

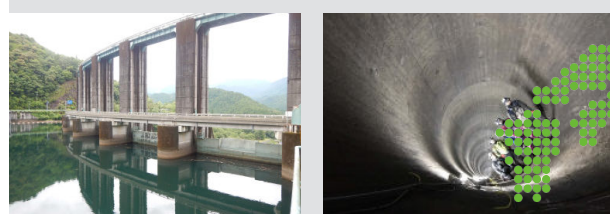
道路橋

港湾施設



栈橋

護岸



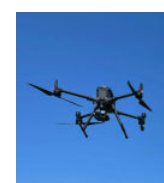
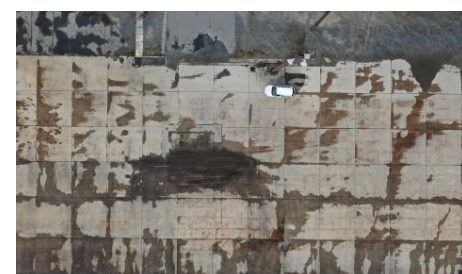
ダム

水路トンネル



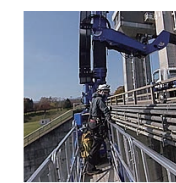
調査技術開発

ドローンを活用した調査



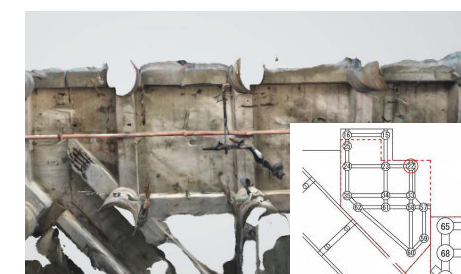
国土交通省の国家資格をもつドローン操縦士が在籍しており、調査技術の向上や、コスト削減に取り組んでいます。

360°カメラを活用した調査



360°カメラを用いてコンクリート構造物の表面を撮影し、映像から劣化状況を把握します。

LiDAR技術を活用した調査



レーザー光による計測で3Dモデルを作成することで、業務効率化を実現しています。



低炭素コンクリート試験

低炭素コンクリートブロックの研究製作



CO2排出量の削減や環境改善に寄与する各種試験に取り組んでいます。「低炭素コンクリート」は、石炭火力発電所から出るフライアッシュや、鉱石から金属を精錬する際に生じるスラグでセメントの一部を置きかえることにより、セメント由来のCO2の排出を削減することができます。耐久性の向上や環境に配慮した活用方法など、様々な実証実験を行っています。



補修材料の技術試験

鉄筋腐食抑制型表面含浸材の共同開発



新設、既設を問わずコンクリート構造物の長寿命化を実現する表面含浸材の共同開発を行っています。コンクリート表面に塗布することでコンクリート表面に防水層を形成し、塩化物イオン、水の浸入を防止し、鉄筋防錆剤の浸透により鉄筋腐食を抑制します。



コンクリート表面のはつ水状況



ひび割れ部ではつ水状況



試験体での含浸深さの確認

交通・生活のインフラを守るコンクリートドクター

シーテックの強み、それはひとりひとりが資格と知識を持ったコンクリートドクターであることです。劣化の調査から予測、それに伴う試験・研究まで、すべて責任を持って社内で行います。暮らしを支えるインフラの「安全を守る」ことに誇りを持って、シーテックはこれからも挑戦し続けます。



健全度調査

コンクリート構造物

調査の種類	調査の内容
外観調査	目視調査 打音調査 赤外線サーモグラフィ法 ドローンをを用いた調査
強度測定	衝撃弾性波法 超音波法 反発硬度法 付着強度試験 コアによる強度試験
ひび割れ測定	直接回折波法 修正BS法 ひび割れ幅測定
ひび割れ深さ測定	衝撃弾性波法 超音波法
鉄筋かぶり厚測定	電磁誘導法 電磁波レーダー法 はつり法
鉄筋腐食度調査	自然電位法 分極抵抗法 はつり法
試料採取	コアサンプル はつり法 ドリル法

外観調査

目視調査 NDIS 3418



コンクリートに発生している変状や劣化を目視観察により発見し記録します。

打音調査



コンクリート表面をハンマーで打撃し、その音質により表面近傍の浮き・剥離・空洞の有無を調査します。

鉄筋かぶり厚測定

電磁誘導法 NDIS 3430



コイルに交流電流を流して発生する磁場を利用して、コンクリート中の鉄筋の位置やかぶりを測定する非破壊試験です。

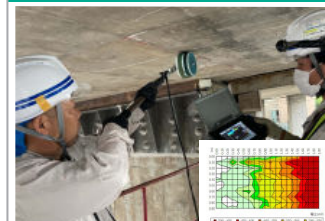
電磁波レーダー法 NDIS 3429



アンテナから電磁波を放射し、その反射波を受信することでコンクリート中の鉄筋や配管、異物、剥離層等を検出します。

鉄筋腐食度調査

自然電位法



鉄筋腐食により変化する鉄筋表面の電位を測定し、鉄筋腐食の発生確率を推定する方法です。

分極抵抗法



コンクリート表面に電極を設置し、その電極から鉄筋へ電流を流すことにより「分極抵抗」を計測し、鉄筋腐食速度を推定します。

強度測定 非破壊試験

衝撃弾性波法 NDIS 2426



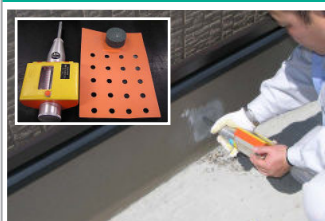
ハンマーや鋼球などの物理的な衝撃や、励磁コイルなどの磁気的な方法で得られた波形を解析します。

超音波法 NDIS 2426-1



コンクリートを伝播する超音波の音速から強度を推定する方法、反射法、透過法等があります。

反発硬度法 JIS A 1155



テストハンマーによる打撃力の反発度を測定し、強度推定を行います。

付着強度試験



コンクリートと表面被覆材(塗膜や断面修復材)の付着強度を建研式により測定します。

試料採取

構造物から試料の採取

前処理(スライス・粉碎など)

測定



中性化試験



強度試験

コアサンプル



電動コア削孔機を用いて、コアサンプルを採取し、必要な物性試験を実施します。

はつり法



電動ピックで鉄筋をはつり出して、鉄筋腐食度を直接観察します。

ドリル法 JSCE-G 573



電動ドリルを用いて、削孔粉を採取し、塩化物イオン濃度試料とします。

ひび割れ測定

直接回折波法



超音波測定器を用いてひび割れ深さを推定します。

修正BS法



送受信センサーでひび割れをはさんで等間隔の位置に接触してひび割れ深さを算出します。

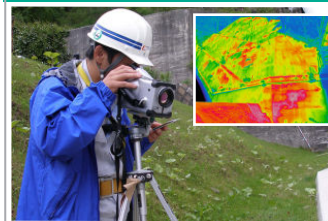
ひび割れ幅測定



クラックスケールの目盛りとの照合により、目視でひび割れ幅を確認します。

赤外線測定

サーモグラフィ法 NDIS 3428



赤外線サーモグラフィ装置を用いて、コンクリート表層の温度差検出により、浮き・剥離を検出します。

地中探査

空洞調査



電磁波を地面に送り、その反射を受信して地下の構造や空洞を画像から検出します。

鋼構造物

外観調査



発錆・腐食、接合部のゆるみ・脱落、変形等の状態を目視・打音点検により把握します。

板厚測定



センサーから発信した超音波が板の裏面で反射して戻るまでの時間を測定し、鋼材の厚さを算出します。

磁粉探傷試験 (MT)



溶接部や鋼材のクラックが想定される箇所に対して、表面に磁粉を散布して傷を検出します。

国内有数最新鋭の試験研究設備

充実した試験設備を用いて、建設材料に関する物性試験、コンクリート配合試験・耐久性試験・促進試験などさまざまな試験に対応しています。

また、低炭素コンクリートブロックなど、新材料および再生材料に関する特殊試験や実証実験などもご相談ください。

試験・解析

硬化コンクリート試験

強度試験



硬化コンクリート供試体を最大5000kNまで試験することができます。

中性化促進試験



コンクリート供試体を指定濃度の炭酸ガスが充満した養生槽内で促進中性化させます。

塩水浸漬(噴霧)試験



コンクリート供試体を塩水浸漬、乾燥により、耐久性と塩水腐食試験を行います。

項目	規格
圧縮強度試験	JIS A 1107,1108
割裂引張・曲げ強度試験	JIS A 1113,1106
静弾性係数測定	JIS A 1149 JIS A 1127
促進中性化測定	JIS A 1153
中性化深さ測定	JIS A 1152
気泡間隔係数測定	リニアトラバース法
噴霧養生試験	
変温試験	
促進耐候性試験	
残存膨張量試験	カナダ法 JCI-DD2
透水試験	インプット法・アウトプット法
凍結融解試験	JIS A 1148 A・B法
長さ変化試験	JIS A 1129-1コンプレータ方法
コア切断・研磨	

気泡間隔係数測定



リニアトラバース法により、コンクリート中の空気量と気泡間隔を求めます。

促進耐候性試験



ウェザーメーターを使用して、塗料や断面修復材の耐候性(光沢・色差)を評価します。

凍結融解試験



コンクリート供試体を促進凍結融解試験により、耐凍害性の評価を行います。

コンクリート分析

レーザー粒度分析



測定対象の粒子に単色・平行のレーザー光を照射し、粒度分布を計算します。

塩化物イオン濃度測定



硬化コンクリート中の塩化物イオン量を定量し、塩分量を求める方法です。

光沢度・色差測定



表面に光を当て、光沢の度合いを数値化して評価します。

項目	規格
レーザー粒度分析	
塩化物イオン含有量試験	JIS A 5308,1144
塩化物イオン濃度測定	JIS A 1154
細孔溶液抽出	

材料試験

ふるい分け試験



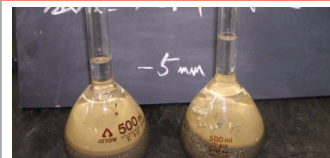
骨材を指定の寸法にふるい分けします。粒状の材料の粒度分布を測定します。

すりへり試験



骨材やコンクリートのすりへり減量を測定する試験です。骨材の耐摩耗性やコンクリートのすり減り抵抗性を評価します。

骨材物質試験

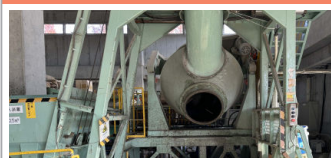


密度・吸水率、微粒分量、単位容積質量、安定性などの各規格、試験方法に準じて実施します。

項目	規格
ふるい分け	JIS A 1102
微粒分量試験	JIS A 1103
単位容積質量試験	JIS A 1104
有機不純物試験	JIS A 1105
すりへり試験	JIS A 1121
安定性試験	JIS A 1122
骨材物質試験	JIS A 1109,1110,1141
粘土塊量試験	JIS A 1137
モルタル膨張試験	JIS A 1146
形状係数試験	
軟石量試験	JIS A 1126

フレッシュコンクリート試験

練り混ぜ試験



1.0m³容量の大型ミキサーを使用し、コンクリート練り混ぜ試験を行います。

ブリーディング試験



コンクリートのブリーディング量を自動計測します。

自動凝結硬化速度試験



コンクリートの凝結時間を自動計測します。

項目	規格
練り混ぜ試験	
振動台式コンシステンシー試験	土木学会
大型V C試験	土木学会
スランプ試験	JIS A 1101
スランプフロー試験	JIS A 1150
空気量試験	JIS A 1128
ブリーディング試験	JIS A 1123
自動凝結硬化速度測定	JIS A 1147
透気性試験	トレント法
供試体作製	JIS A 1132
断熱温度上昇試験	JCI-S-003

コンクリート透水試験



水圧にて水を浸透させ、透水量を測定することにより表面透水係数を求めます。

乾燥収縮試験



コンクリート供試体を指定環境下に養生し、乾燥収縮による長さ変化を測定します。

断熱温度上昇試験



特殊容器により断熱状況下での硬化発熱温度を測定します。

アルカリシリカ反応試験

アルカリ骨材反応試験



モルタルバーを作製し、貯蔵槽で反応を促進させて長さ変化を測定します。

項目	規格	仕様
アルカリ骨材反応試験	JIS A 1145,1146	化学法 モルタルバー法
コンクリートコアの促進膨張試験		建設省総プロ法 JCI-S-011(旧JCI-DD2) 飽和NaCl溶液浸漬法(案) アルカリ溶液浸漬法(案)

粉砕試験

原石搬入



一次～三次破砕

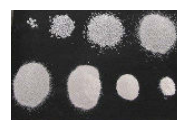


ふるい分け洗浄

製砂



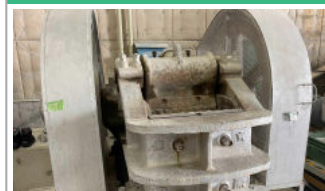
製品細骨材



試験・作業の種類

骨材破砕試験	機械ふるい分け
製砂試験(指定粒度・粗粒率)	手ふるい分け(粗骨材)
骨材製造	粗骨材の洗浄
原石骨材のふるい分け	

ジョークラッシャ



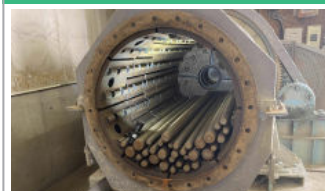
一次破砕に用いる圧碎型の破砕機。供給寸法最大300mm程度の大塊の処理が可能、出口間隙を調整し、150～80mm、80～40mmなどの粗骨材を製造します。

コーンクラッシャ



二次および三次破砕に用いる摩碎型の破砕機。供給寸法最大100mm程度の中粒径の処理に使用、出口間隙を調整し、40～20mm、20～5mmなどの粗骨材を製造します。

ロッドミル



細骨材を製造する湿式型の粉砕機。スパイラル式分級機を併設し、設定する粗粒率、粒度範囲の細骨材を製造します。

セパレータ



混在する粒度の材料を要求寸法に調整する水平振動篩網三段型のふるい分け機。供給水を用いた洗浄も行います。

会社概要

商 号	株式会社 シーテック
本 社	〒253-0053 神奈川県茅ヶ崎市東海岸北3丁目8-13-9 SACRAS CHIGASAKI 101 TEL 0467-59-5391 FAX 0467-59-5392
技 術 部	〒253-0041 神奈川県茅ヶ崎市茅ヶ崎1-9-88 株式会社J-POWER設計コンサルタント内 TEL 0467-85-4111 FAX 0467-85-4127
設 立	2002年4月1日
登 録	建設コンサルタント(建04第8993号)
資 本 金	1,000万円
従 業 員 数	24名 2026年9月現在
取 引 銀 行	横浜銀行
U R L	http://www.kk-ctec.co.jp

加入団体

土木学会 / 日本コンクリート工学会 / プレストレストコンクリート工学会 / 日本エルガード協会
海洋港湾構造物維持管理士会(MEMPHIS会) / 日本非破壊検査協会 / 日本建築学会
東京コンクリート診断士会 / 本四高速自動点検・補修技術開発コンソーシアム

主な保有機器

【電磁波レーダ】	【非破壊試験】	【鉄筋腐食・含水】	【UAV・水中ドローン】
ストラクチャスキャン SIR-EZ	衝撃弾性波試験機 i-TECS-8	自然電位測定器 DM-40P	DJI MATRICE 300 RTK
同 SIR-EZ HR 3D	テストハンマー NSR-Ⅲ型	鉄筋腐食測定器 Dr.CORR 7755	DJI MAVIC 3 / Mavic 2 Zoom
同 SIR-EZ LT / EZ LXT	ハンディーマグナ HM-76/52L	コンクリート水分計 HI-520-2	水中 CHASING M2 PRO MAX
	携帯用ブラックライト S-65LC2	【コア採取】	水中 CHASING M2
		コアドリル コンセック SPJ型	水中 Gladius Mini S 4K

業務実績

2024年度 138件	(試験 30件／調査 108件)	2025年度 146件	(試験 48件／調査 98件)
発電所・水路 30	【主な業務】	発電所・水路 37	【主な業務】
港湾・海洋 24	ダム長寿命化計画更新業務委託	港湾・海洋 23	ダム長寿命化計画策定業務委託
ダム 25	港湾施設維持管理計画更新業務委託	ダム 18	港湾土木施設定期点検診断業務
骨材・製造 5	関東支社管内 橋梁床版調査業務	骨材・製造 14	橋梁床版調査
橋梁 13	発電所 導水路内部点検他調査業務	橋梁 11	発電所 導水路内部点検業務
低炭素・新材料 4	OCGスラグ骨材試験業務 ほか	低炭素・新材料 4	石炭ガス化スラグ骨材試験業務 ほか

登録・認証

横浜市SDGs認証制度 Y-SDGs -standard- 横浜市SDGs認証制度“Y-SDGs”認証 / かながわSDGsパートナー登録
CHO構想推進事業所登録 / かながわ健康企業宣言 健康づくり取組み企業認定

役員

会 長	木 下 茂
代 表 取 締 役	鈴 木 世 二
取 締 役	相 澤 雅 俊
取 締 役	浅 岡 恵 子
社 外 取 締 役	鈴 木 潤 (顧問税理士)
監 査 役	菅 原 佳 喜

2026年9月現在

主な取引先

電源開発株式会社	五洋建設株式会社	株式会社八洋コンサルタント
株式会社J-POWER設計コンサルタント	東亜建設工業株式会社	株式会社オリエンタルコンサルタンツ
J-POWERジェネレーションサービス株式会社	東洋建設株式会社	日本シビックコンサルタント株式会社
株式会社J-POWERハイテック	大成建設株式会社	株式会社波多野調査設計
株式会社ネクスコ東日本エンジニアリング	株式会社奥村組	株式会社ナカボーテック
中日本ハイウェイ・エンジニアリング東京株式会社	株式会社森岡組	日本防蝕工業株式会社
首都高技術株式会社	日本工営株式会社	株式会社カナデビアエンジニアリング
箱根ターンパイク株式会社	株式会社ニュージェック	ボンドエンジニアリング株式会社
横浜港埠頭株式会社	株式会社センク21	リテックエンジニアリング株式会社
港湾空港技術研究所	成和コンサルタント株式会社	株式会社セイア
国立研究開発法人土木研究所		

有資格者

技術士(建設部門)	3名	インフラ調査士	2名
上級土木技術者(メンテナンス)	2名	高速道路点検士(土木)	2名
1級土木技術者(鋼・コンクリート)	1名	高速道路点検士補(土木)	2名
1級土木施工管理技士	3名	道路橋点検士	2名
2級土木施工管理技士	1名	都市道路点検診断士	3名
シビルコンサルティングマネージャー(RCCM)	1名	測量士補	2名
コンクリート診断士	7名	構造物の補修補強技士	1名
コンクリート主任技士	1名	土木鋼構造診断士補	3名
コンクリート技士	14名	超音波探傷試験(UT)レベル1	1名
コンクリート構造診断士	3名	磁粉探傷試験(MT)レベル1	2名
海洋・港湾構造物維持管理士	2名	磁粉探傷試験(MT)レベル2	1名
1級構造物診断士	2名	配筋探査技術者	3名
技術士補(建設部門)	2名	河川点検士	1名
二等無人航空機操縦士	1名		

2026年9月現在

技能講習および特別教育

職長・安全衛生責任者	20名	首都高技術点検技術者	6名
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者	12名	都市道路構造物点検技術者	3名
第1種酸素欠乏作業者	1名	ゴンドラ操作者	10名
第2種酸素欠乏作業者	12名	ショベルローダー等運転	7名
フルハーネス型墜落制止用器具	18名	フォークリフト運転	6名
足場の組立等作業主任者	2名	高所作業車運転	14名
足場の組立等作業従事者	4名	ドローン操縦士回転翼3級	3名
ロープ高所作業	6名	床上操作式クレーン運転	9名
アーク溶接	1名	小型移動式クレーン運転	2名
研削といしの取替え等	1名	玉掛け	8名
特定粉じん作業	1名		

2026年9月現在